

クリフストーン1型・2型門柱

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読み下さい。
- 裏表紙の「施工上の留意点とお願い」を必ずお守りください。お守り頂かないとケガや破損の原因となります。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡し下さい。

梱包明細書

①本体セット

名 称	員 数							
	H1000		H700				H300	
	独・標	門・標	独・標	門・標	独・機	門・機	独・標	
発泡芯材	1	1	1	1	1	1	1	
アンカー棒	2	2	2	2	2	2	—	
精 ホ ン ン セ ット	結線ボックス材	—	—	—	—	1	1	—
	結線ボックス材取付ビス M4×60ナベ	—	—	—	—	2	2	—
	結線ボックスパッキン	—	—	—	—	1	1	—
	結線ボックスカバー	—	—	—	—	1	1	—
結線ボックスカバー取付ビス M3×14サラ	—	—	—	—	2	2	—	
接着剤	4	4	4	4	4	4	2	
穴ふさぎシール	—	4	—	4	—	4	—	
割石固定クギ	30	30	30	30	30	30	30	

※独：単独仕様，門：門柱仕様，標：標準仕様，機：照明・インターホン用

②割石セット〈1型〉(色：グレー・ブラウン，仕様：左右勝手共通)

名 称	梱包名称	割石No.	割石入数	員 数						
				H1000		H700				H300
				独・標	門・標	独・標	門・標	独・機	門・機	独・標
1 A 割石補修剤入		4	2	1	1	1	1	1	1	—
		5	2							
		9	2							
		14	2							
		18	2							
1 B		19	2	1	1	1	1	1	1	—
		2	2							
		3	2							
		7	2							
		8	2							
1 C		16	2	1	1	—	—	—	—	—
		17	2							
		1	2							
		6	2							
イリス 1～4型用		10	2	—	—	—	—	—	—	—
		15	2							
		11	1							
		11-1	1							
		12	1							
イリス A～K型用		12-1	1	—	(1)	—	(1)	—	(1)	—
		13	2							
		18-1	1							
		11	1							
		11-1	1							
独立仕様用		12	2	1	—	1	—	1	—	—
		13	2							
		18-1	1							
		4	2							
H300用 割石補修剤入		5	2	—	—	—	—	—	—	1
		9	2							
		13	2							
		14	2							
		18	2							
		19	2							

※()は調整金具ピッチ400mmの場合のセット内容です。

③ 割石セット〈2型〉(色: グレー・ブラウン, 仕様: 単独仕様, 門柱仕様(右勝手))

名 称 梱包名称	割石No.	割石入数	員 数						
			H1000		H700		H300		
			独・標	門・標	独・標	門・標	独・機	門・機	独・標
2 A右 割石補修剤入	1	2	1	1	1	1	1	1	-
	2	2							
	5	2							
	9	2							
	14	2							
2 B右	15	2	1	1	1	1	1	1	-
	3	2							
	6	2							
	7	2							
	8-1	2							
2 C右	16	2	1	1	-	-	-	-	-
	17	2							
	4	2							
	8	2							
イリス 1~4型用 右	13	2	-	(1)	-	(1)	-	(1)	-
	18	2							
	10	2							
	11	1							
	11-1	1							
イリス A~K型用 右	12	1	-	(1)	-	(1)	-	(1)	-
	12-1	1							
	15-1	1							
	10	1							
	10-1	1							
独立仕様用	11	2	1	-	1	-	1	-	-
	12	2							
	15-1	1							
	10	2							
H300用 割石補修剤入	11	2	-	-	-	-	-	-	1
	2	2							
	3-1	2							
	5	2							
	6-1	2							
	9	2							
	10	2							
	14	2							
15	2								

※()は調整金具ピッチ400mmの場合のセット内容です。

④ 割石セット〈2型〉(色: グレー・ブラウン, 仕様: 門柱仕様(左勝手))

名 称 梱包名称	割石No.	割石入数	員 数		
			H1000 門・標	H700 門・標	門・機
2 A左 割石補修剤入	4	2	1	1	1
	7	2			
	8	2			
	13	2			
	17	2			
2 B左	18	2	1	1	1
	2-1	2			
	3	2			
	5	2			
	6	2			
2 C左	15	2	1	-	-
	16	2			
	1	2			
	2	2			
イリス 1~4型用 左	9	2	1	1	1
	14	2			
	10	1			
	10-1	1			
	11	1			
イリス A~K型用 左	11-1	1	(1)	(1)	(1)
	12	2			
	12-1	1			
	17-1	1			
	10	1			
	10-1	1	-	-	-
	11	2			
	12	1			
	12-1	1			
	17-1	1			

※()は調整金具ピッチ400mmの場合のセット内容です。

⑤ 笠木セット

名 称	員 数	
	標 準	照 明 インターホン用
笠木	1	1

⑥ 目地モルタル

名 称	員 数
目地モルタル	1

⑦ 目地施工キット

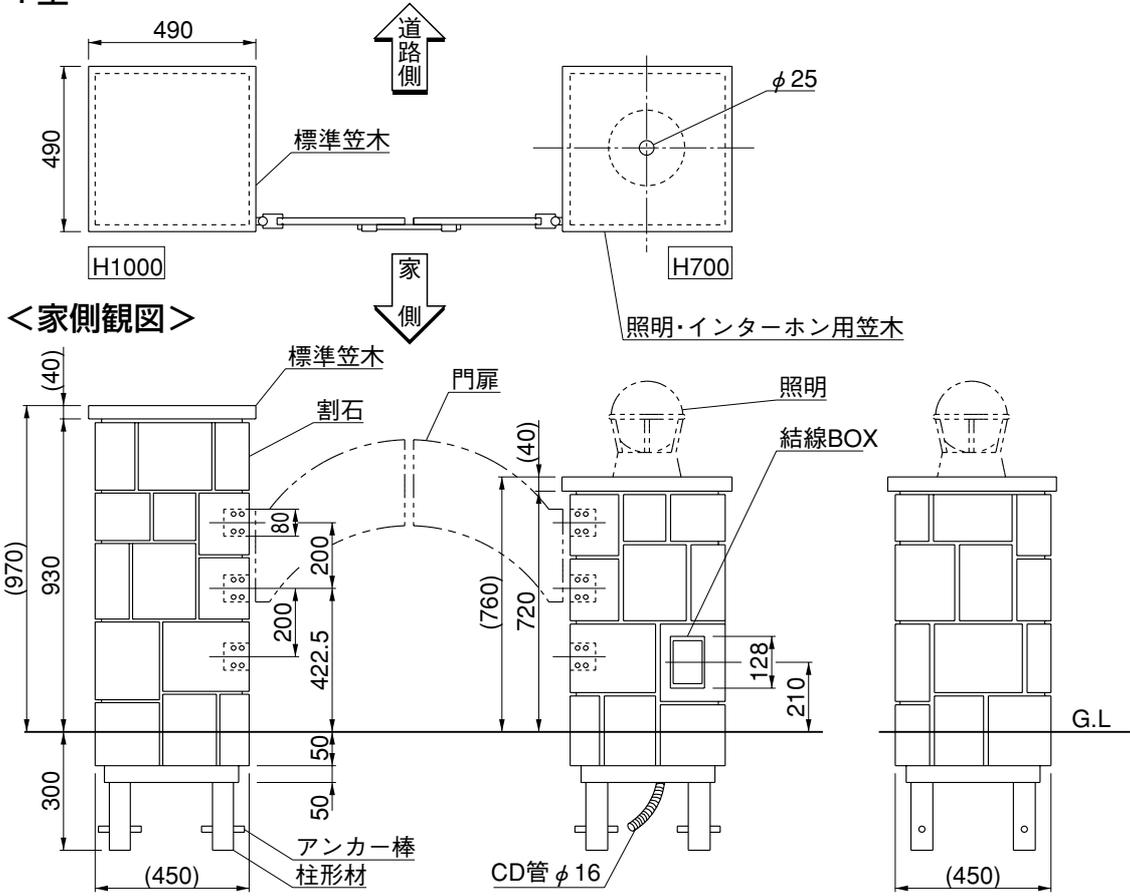
名 称	員 数
目地バッグ	1
口金	1
ヘラ	1
ブラシ	1

⑧ イリス門扉用調整金具セット(左・右)

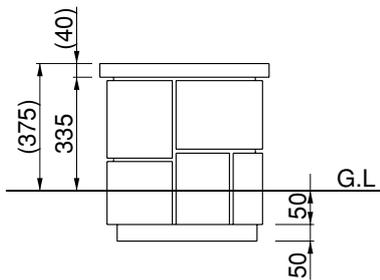
名 称	員 数	
	左勝手	右勝手
調整金具本体	2	2
角度調整機能用ヒンジB	2	2
ヒンジ取付ボルト	4	4
ヒンジボルトキャップ	4	4
カバー本体取付ネジ	8	8

1.基本寸法および各部名称

1-1 1型

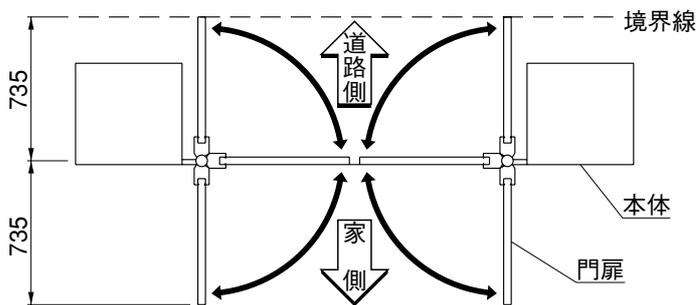


H300



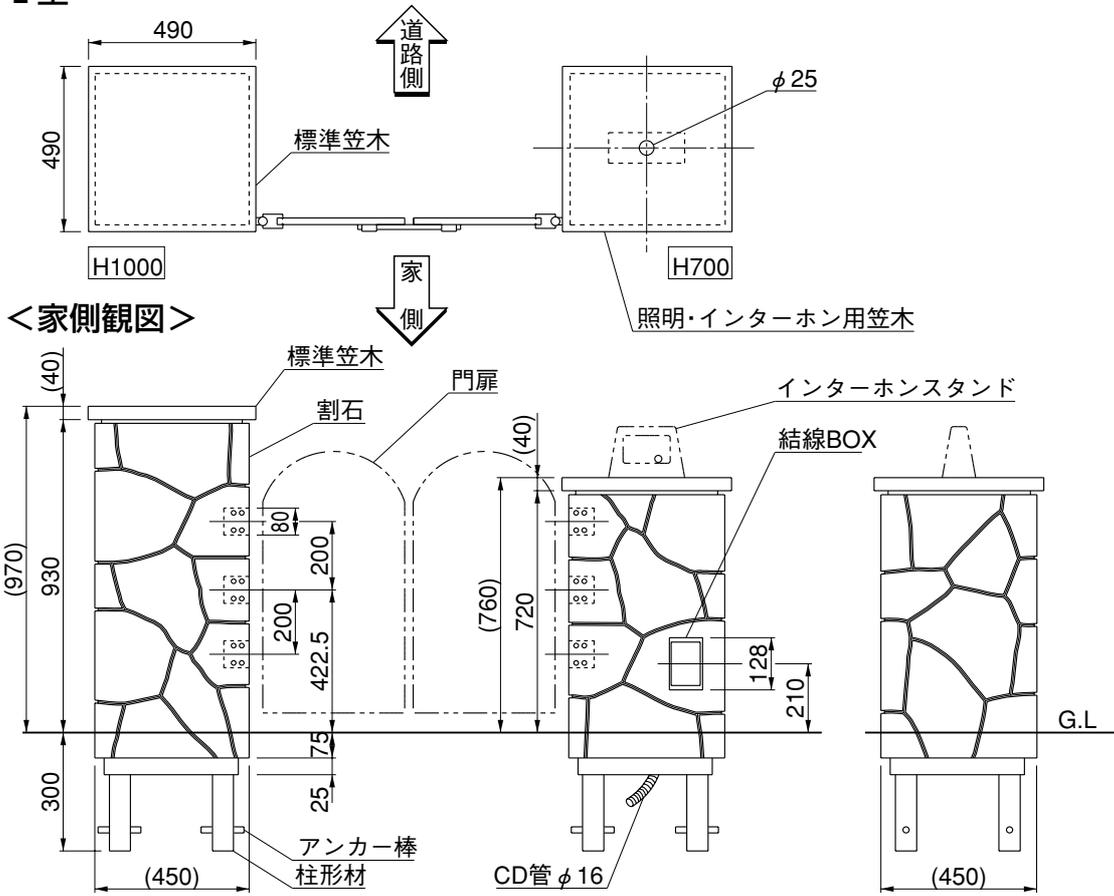
<注意>

- 「イリス門扉」は内外開きします。したがって敷地の境界線ぎりぎりに門柱を施工することはできません。必ず門扉が180°開閉できる所に施工して下さい。
- ()内寸法は割石の厚みにより異なります。
- 「片開き」の施工については「サブ門柱」の取付説明書を参照して下さい。

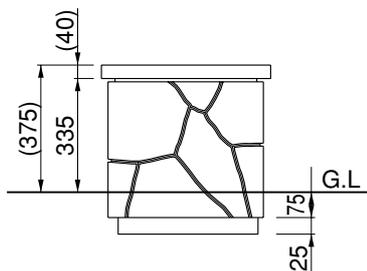


1.のつづき

1-2 2型

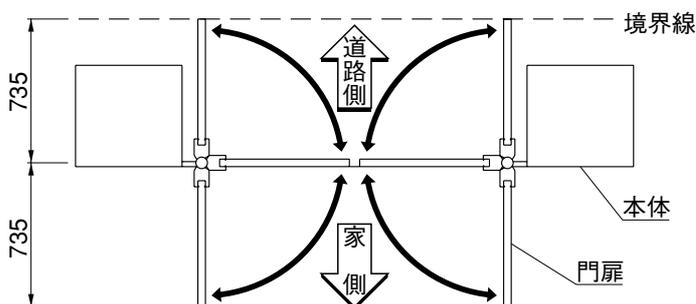


H300



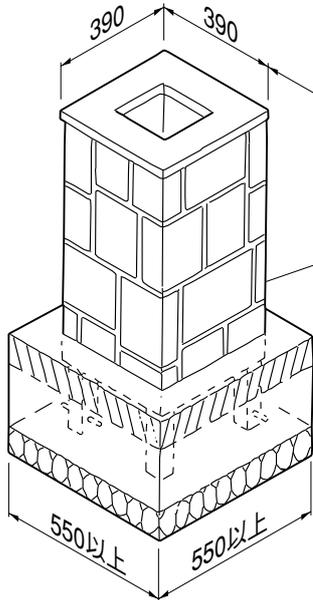
<注意>

- 「イリス門扉」は内外開きします。したがって敷地の境界線ぎりぎりに門柱を施工することはできません。必ず門扉が180°開閉できる所に施工して下さい。
- ()内寸法は割石の厚みにより異なります。
- 「片開き」の施工については「サブ門柱」の取付説明書を参照して下さい。



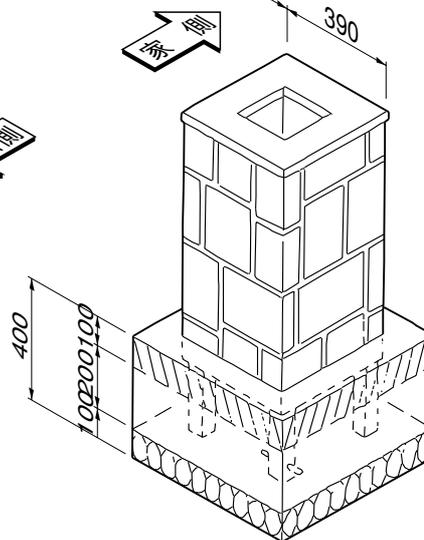
2.基礎の施工

2-1 H1000,H700の施工



発泡芯材

W
(門扉仕様の場合)

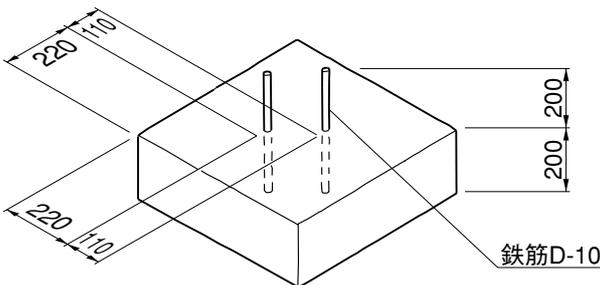


<注意>

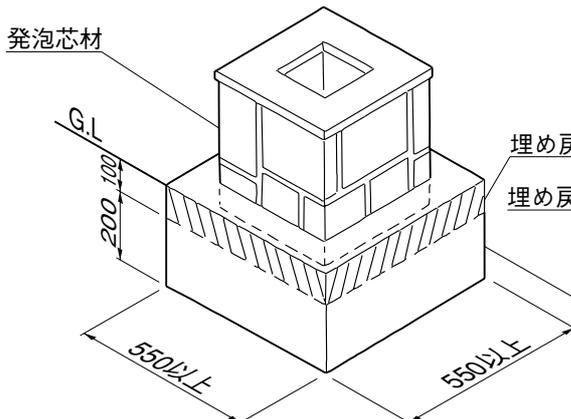
- 割石を張った後に埋め戻しコンクリート※を施工して下さい。

使用門扉	W
イリス門扉 1～4型	1603
イリス門扉 E型 07	1572
イリス門扉 A～D型 06	1372

2-2 H300の施工



鉄筋D-10



鉄筋D-10

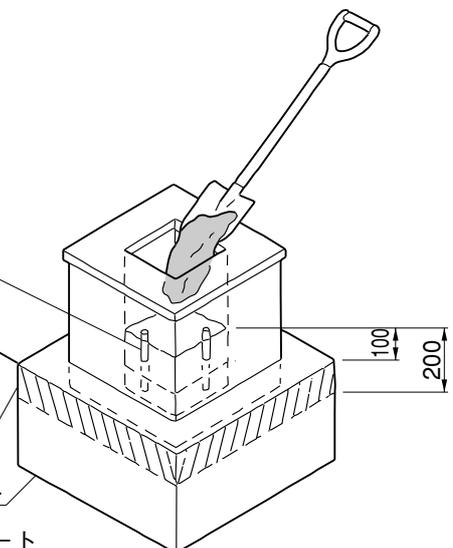
埋め戻しコンクリート※

埋め戻しコンクリート※

基礎コンクリート

基礎コンクリート

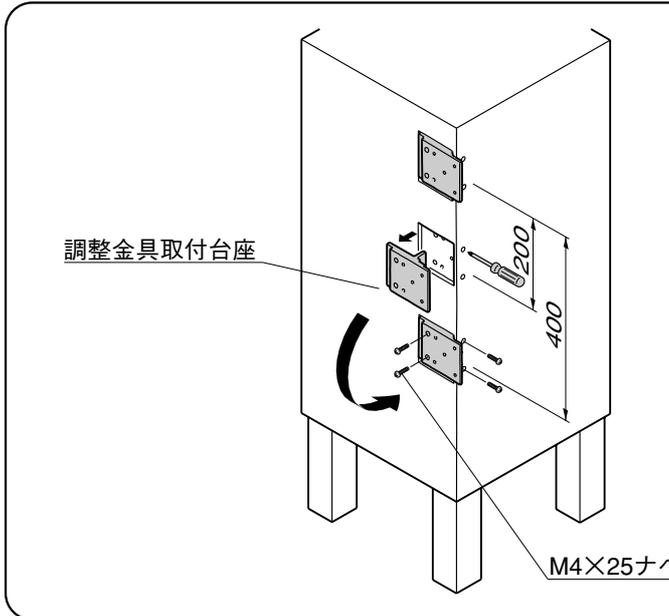
- 設置後、発泡芯材の空洞部に生コンクリートを流し込んでください。



<注意>

- 割石を張った後に埋め戻しコンクリート※を施工して下さい。

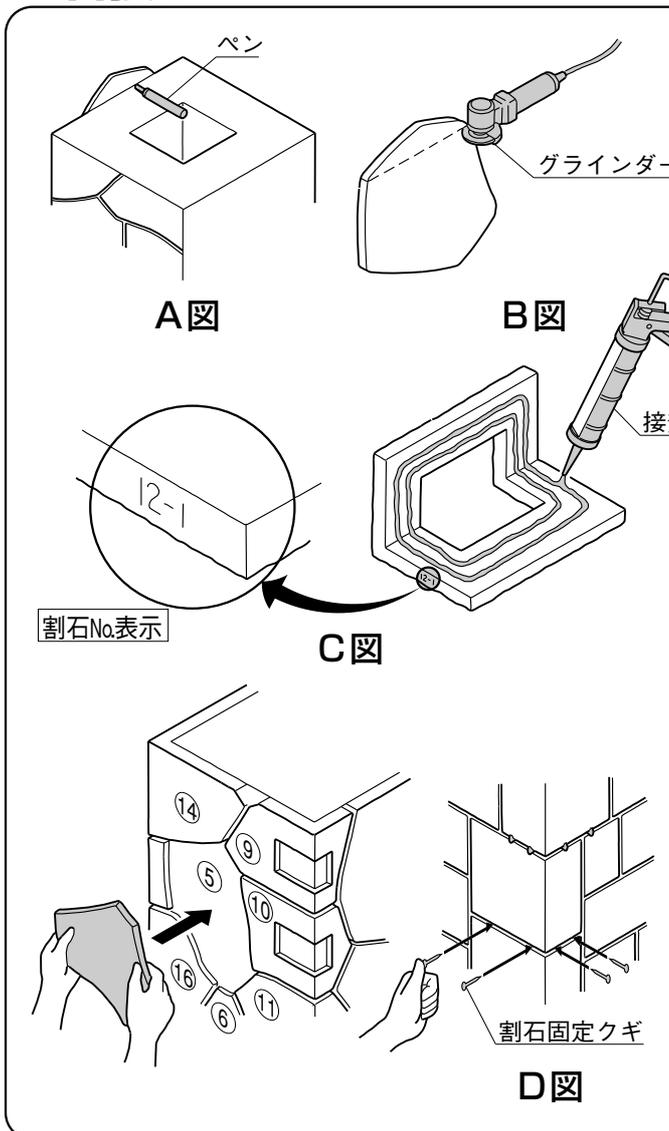
3.調整金具取付台座ピッチの変更（門柱仕様，ピッチ400mm）



■ 出荷時では台座ピッチが200mmに付けられています。400mmの門扉を使用する場合は、外し台座をピッチ400mmに付け替えて下さい。

■ ドライバー指込み穴に穴ふさぎシールを貼って下さい。

4.石張り



■ 2型のH700かH300の場合は下の表を参照して、割石を天端カットして下さい。（1型はカットの必要はありません。）

● カットを必要とする割石No.（2型のみ）

高さ 割石No.	H300		H700					
	5	15	7	12	12-1	17	5	15
仕様 勝手								
単独仕様	2コ	2コ	2コ	2コ	—	2コ	—	—
門柱仕様 右勝手			2コ	1コ	1コ	2コ	—	—
門柱仕様 左勝手			—	—	—	—	2コ	2コ

■ 発泡芯材に割石を合わせてケガキを入れる。（A図参照）

■ ケガキに合わせて割石をカットする。（B図参照）

<注意>

- 割石カット面が発泡芯材天面より上に出ないようにご注意ください。

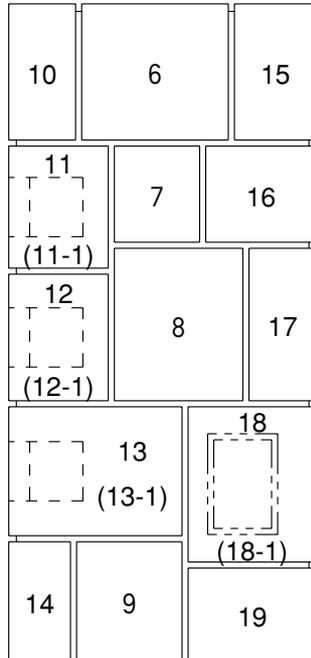
■ 接着剤の先端を切り落とし、割石に接着剤を塗り、（7～8ページ）を参照しながらしっかりと接着して下さい。（割石No.は割石の端に彫ってあります。（C図参照））

<ポイント>

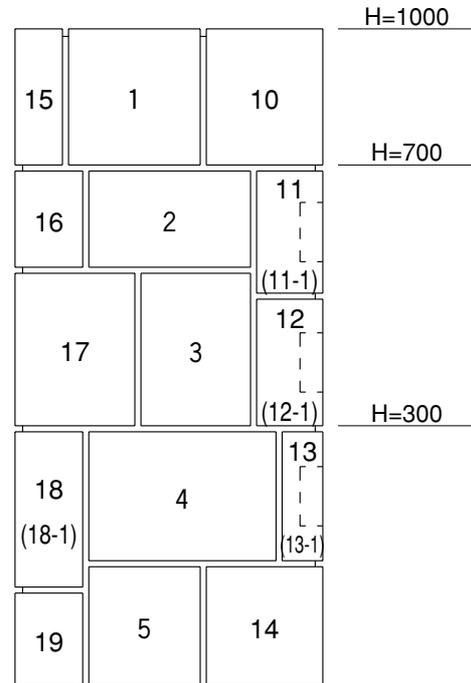
- 割石がずり下がる場合は、付属の割石固定クギを利用して下さい。（D図参照）
- 目地を10mm位に保って頂くと美しく仕上がります。
- 割石はコンクリート製のため、バリ等が発生して発泡芯材に納まらない場合があります。この場合は割石をハンマー等で削って発泡芯材に納まるようにして下さい。

5.石割り(1型の場合)

5-1 左勝手



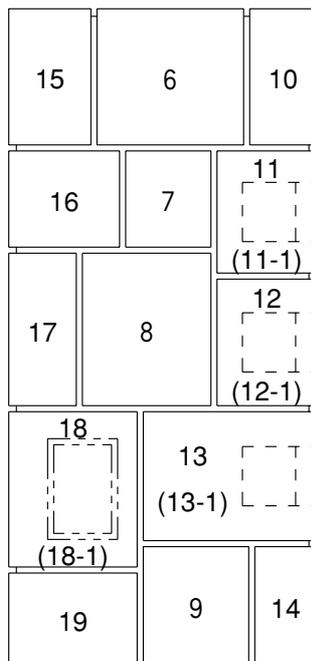
正面・背面



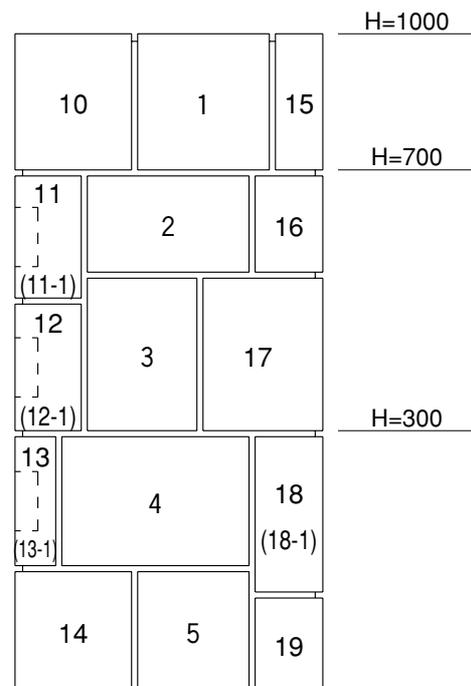
側面

※()は穴あきタイプの石No.です。

5-2 単独仕様および右勝手



正面・背面

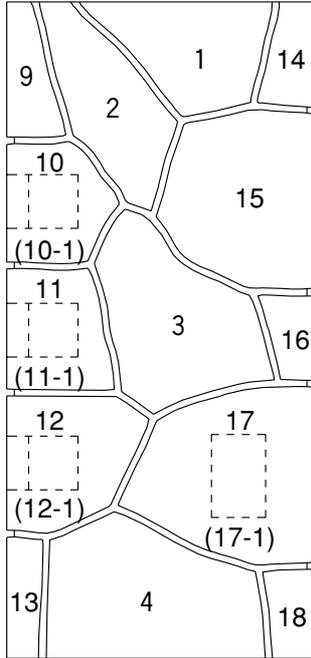


側面

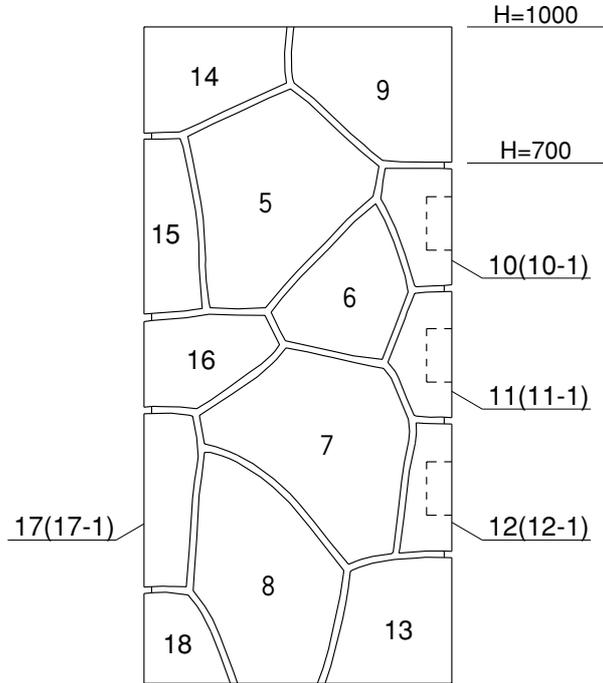
※()は穴あきタイプの石No.です。

6.石割り(2型の場合)

6-1 左勝手



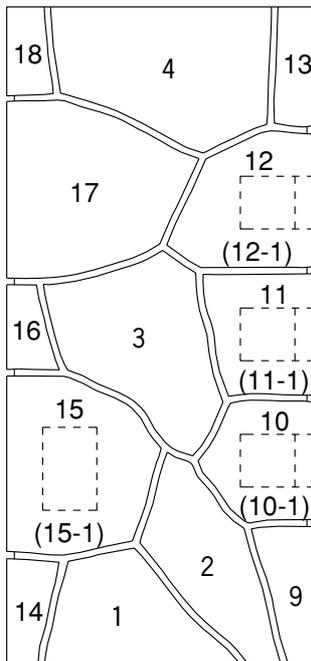
正面・背面



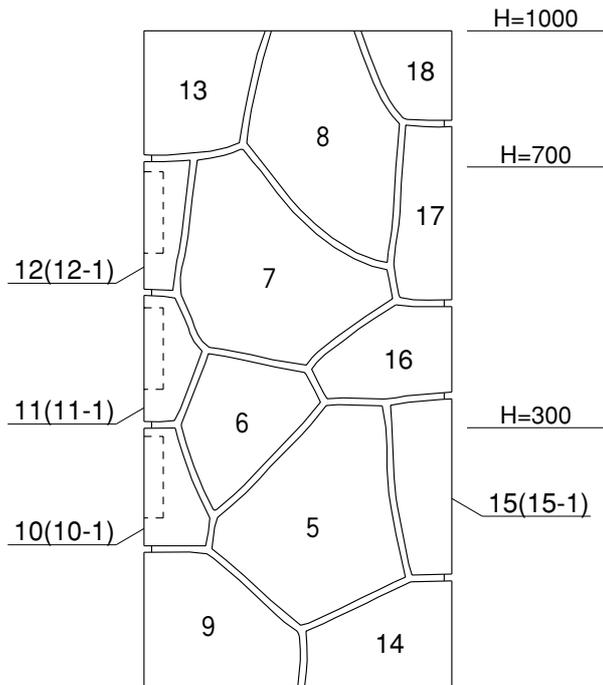
側面

※()は穴あきタイプの石No.です。

6-2 単独仕様および右勝手



正面・背面

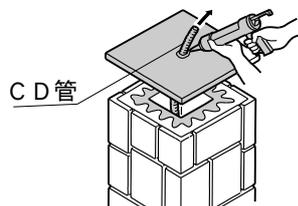
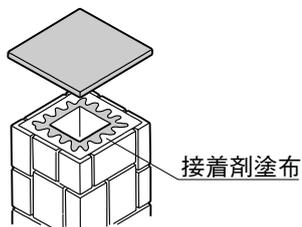


側面

※()は穴あきタイプの石No.です。

7. 笠木張り

笠木は発泡芯材天面に接着剤を塗布して張って下さい。



7-1 標準タイプ

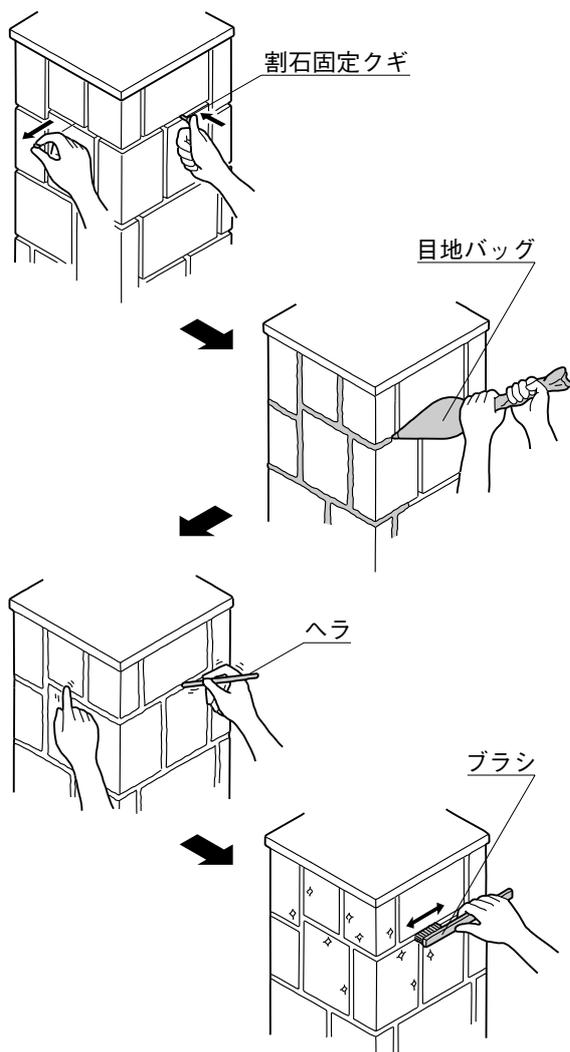
■そのまま張って下さい。

7-2 照明・インターホン用タイプ

■C D管を抜き出し穴に通してから張って下さい。さらに抜き出し穴とC D管との隙間を接着剤でコーティングして下さい。

8. 目地埋め

目地埋めは割石がぐらつかなくなるまで養生してから行なって下さい。



■割石固定クギを抜くか、または目立たなくなる程度まで押し込んで下さい。

■目地モルタル:水=1kg:0.2ℓになるように調合して下さい。

■目地バッグに口金を入れ、モルタルをつめて下さい。

■目地をモルタルで埋めてください。このとき不要となる排水口も埋めて下さい。

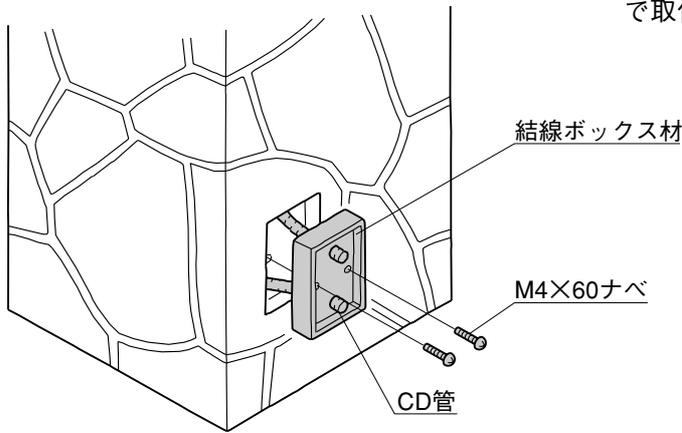
■モルタルが指につかなくなるまで養生して下さい。

■付属のヘラまたは指で目地を押しつけながら隙間がないように平らにして下さい。

■付属のブラシで目地にそうようにブラシをかけて、目地を仕上げてください。

9. 結線ボックスの取付け(照明・インターホン用の場合)

■ 結線ボックス材を結線ボックス材取付ビス(M4×60ナベ)で取付けて下さい。



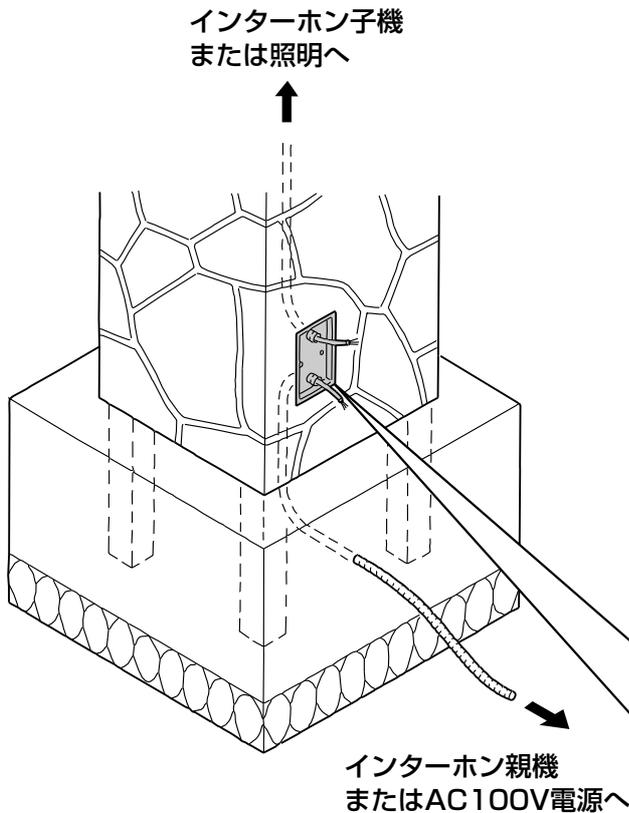
10. 結線ボックス内での照明・インターホン用配線の結線方法(照明・インターホン用の場合)

<注意>

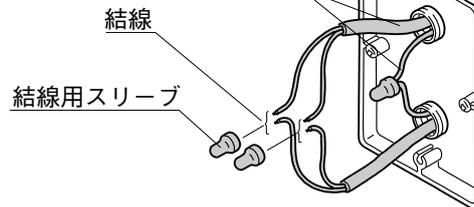
- 電気配線工事は必ず「電気工事店」(電気工事有資格者)様にご依頼下さい。
- 照明・インターホン用配線の詳しい結線につきましては、それぞれ付属の取付説明書および取扱説明書をご参照下さい。
- アース線の接地は必ず行なって下さい。

■ 結線ボックス内においてインターホン子機と親機との結線、または照明の結線を行なって下さい。

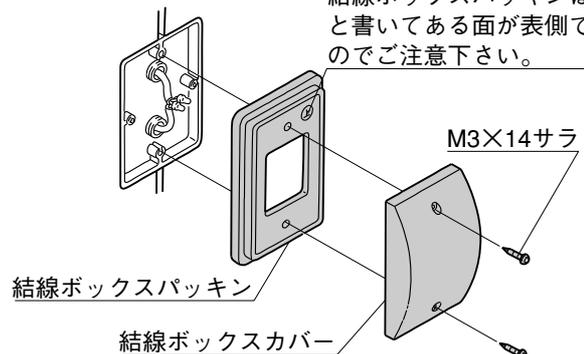
❷ 結線ボックスパッキンと結線ボックスカバーを下図のように取付けて下さい。



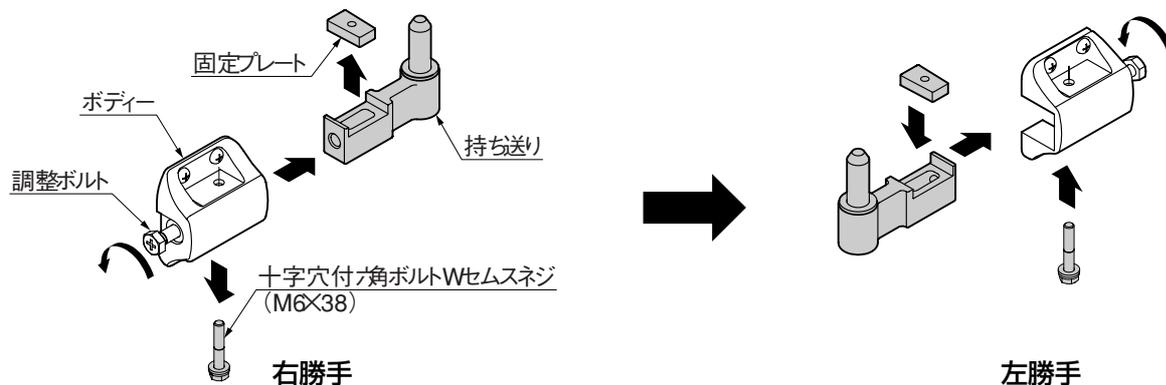
インターホン子機用コード
または照明用3芯コード



結線ボックスパッキンは⊕と書いてある面が表側ですのでご注意下さい。



11.調整金具の勝手変更(門扉仕様・調整金具Tのみ)

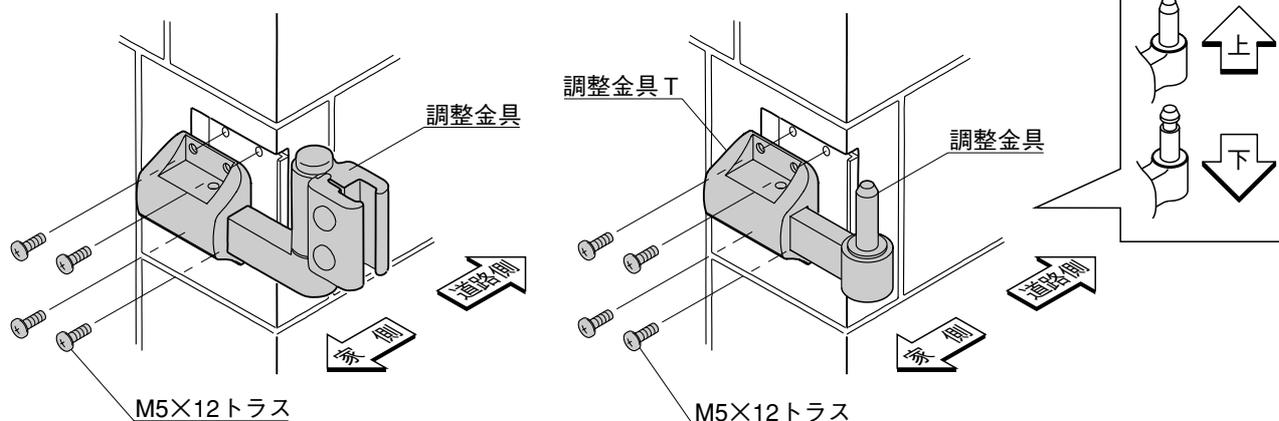


- ❶ 「十字穴付六角ボルトWセムスネジ」を外して下さい。
- ❷ 調整ボルトをゆるめて持ち送りと固定プレートを外して下さい。
- ❸ ボディーの向きを変え、持ち送りに固定プレートを乗せてボディに挿入して下さい。
- ❹ 調整ボルトを締めて下さい。
- ❺ 「十字穴付六角ボルトWセムスネジ」を締め、持ち送りを固定して下さい。

12.調整金具の取付け(門扉仕様の場合)

イリス門扉1~4型用

調整金具T

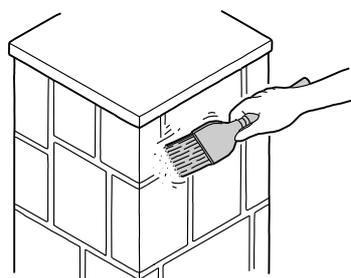


- ❶ 調整金具取付ビス(M5×12トラス)を用いて台座に取付けて下さい。

<注意>

- 調整金具Tには上下があります。
- ❷ 寸法の調整を行なって下さい。(詳細は錠の取付説明書を参照して下さい。)

13.本体の掃除



- ❶ ブラシ等で本体の清掃をして下さい。

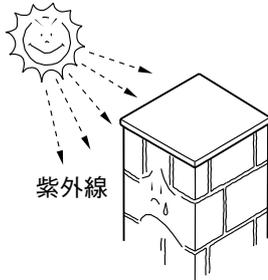
14. 割石補修材の塗布

割石の補修用として同色の塗料を用意してあります。適切な補修をしないと色違いの原因となりますので以下の通り行なって下さい。

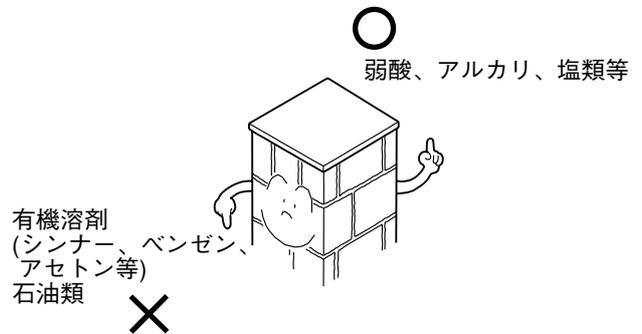
- ① 水：補修材＝5：1になるように調合します。
- ② 補修用フデを用いて割石のキズ、欠損部等に塗って下さい。
- ③ 塗料が目地につかないように注意して下さい。万一塗料が目地に付いた場合はすぐに水で洗い落として下さい。

15. 施工上の留意点とお願い

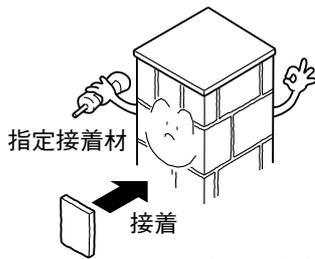
■発泡芯材は太陽光線のもとに長時間放置すると紫外線により表面が劣化する恐れがあります。開梱、固定後はすみやかに割石張りを行なって下さい。日を置く場合は必ずシート、段ボール等で養生して下さい。万一劣化等が見受けられましたら柔らかいブラシ等ですみやかにお取り下さい。



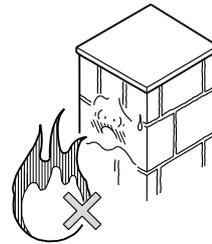
■発泡芯材の化学的性質は一般に弱酸、アルカリ、塩類などには優れた抵抗性を持っていますが、アルコール系以外の有機溶剤や石油類に侵される性質を持っています。



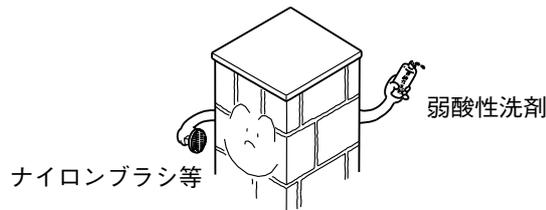
■割石の接着には必ず当社指定の接着剤を使用して下さい。他の物を用いますと接着剤に含まれている有機溶剤で発泡芯材が侵されたり接着不良を起こしたりします。



■発泡芯材は難燃材を含んでいますので微少火源では着火しにくくなっていますが、融解する性質があります。火気には十分にご注意下さい。また、80℃以上になると変形しますので、高温のものは近付けないで下さい。



■割石の主成分がセメント系であるため割石の内部および目地部分からカルシウム分が水分により溶け出し、表面に白いシミ(白華現象)が出る事があります。ナイロンブラシ等で白い部分を落とし、さらに弱酸性洗剤でふきとっていただければ簡単におとすことができます。



工事店様へ

- 仕上げ後、割石表面についているモルタル等は完全に拭き取ってください。硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- 御使用いただきましてありがとうございました。次回も当社の製品をご使用ください。

取説コード

A333

200208A_1001